

## 議題2 「次期大阪市教育振興基本計画」について

1	これまでの本市基本計画	1
	「いじめ」に係る取組	2
	「不登校」に係る取組	3
	学力向上重点施策について	4
	I C Tを活用した教育の推進	9
	デジタルドリルの導入について	10
	施策ごとの検証結果	12
2	「次期(第4期) 大阪市教育振興基本計画」について	25

# 「次期（第4期）大阪市教育振興基本計画」について（案）

**これまでの本市基本計画**：計画の範囲は学校教育(就学前から高等学校卒業まで)等

H23(2011).3 策定

今後10年間を見通した「大阪市教育振興基本計画」策定未来に向けてたくましく生きる“なにわっ子”の育成

H25(2013).3 1次改訂

これまでの施策により一定の成果が見られるものの、依然としてさまざまな課題が存在  
そのような状況を抜本的に改善するためには、**これまでの教育のあり方を大胆に改革することが不可欠**  
**5つの改革**（カリキュラム・グローバル・マネジメント・ガバナンス・学校サポート）

**大阪市教育行政基本条例**：市長が教育委員会と協議して教育振興基本計画の案を作成して市会の議決を経て定めることを通じて、**政治と行政が連携して教育の目標と施策の内容を決定**

**大阪市立学校活性化条例**：**校園長を中心としたマネジメントの確立に向けた総合的な改革**に取り組む

H29(2017).3 2次改訂

⇒H28(2016).3 期間延長

**最重要目標の設定**

- ・子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現
- ・心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

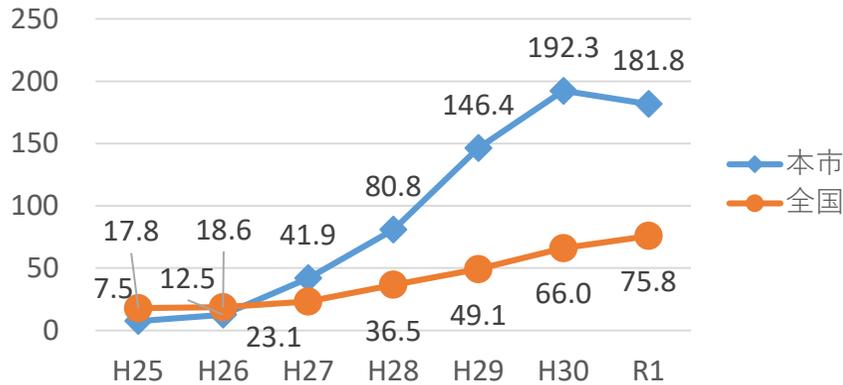
—改革の第2ステージ—

⇒R3(2021).3 期間延長

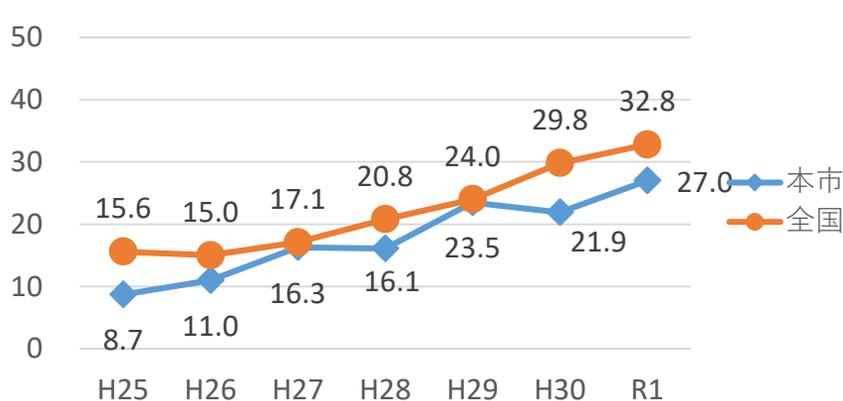
約10年にわたり現役世代への重点投資として教育施策に重点を置き、教育環境の改善・整備を実施

# 「いじめ」に係る取組

いじめ認知件数（小学校：比率1,000人当たり）



いじめ認知件数（中学校：比率1,000人当たり）



【課題と今後の方向性】いじめの認知については、小学校では全国平均よりも高く、中学校についても高まってきている。一方で学校がいじめを早期に発見し、適切な対応により、重大事態に至らないように早期解決するためには、**いじめ対策を全教職員が理解し、徹底することが不可欠である。**

## 「大阪市いじめ対策基本方針」に係る研修

全教職員を対象としたeラーニングの実施。  
「学校いじめ防止基本方針」の点検。

【目的】いじめ対策の徹底

## 第三者委員会 常設化

令和3年4月より常設化。

（令和2年9月総合教育会議で方針決定）

【目的】いじめ重大事態事案のすみやかな対応

## いじめアンケート等のオンライン化

令和3年5月末より1人1台学習者用端末による「いじめアンケート」の実施可能。

令和3年10月頃に相談機能も追加予定。

【目的】いじめの早期発見・早期解決



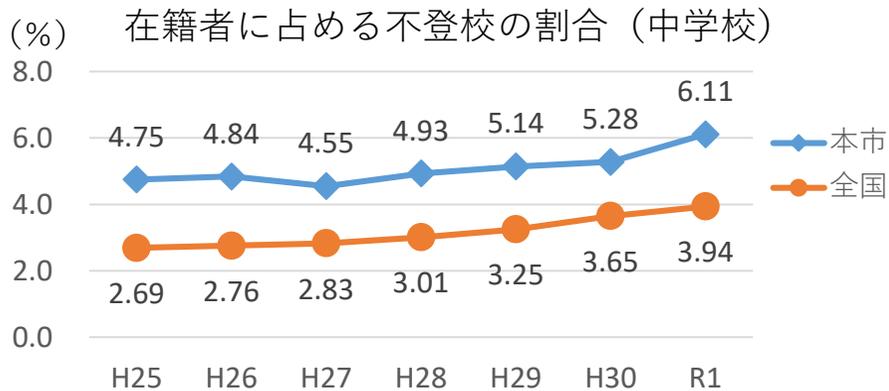
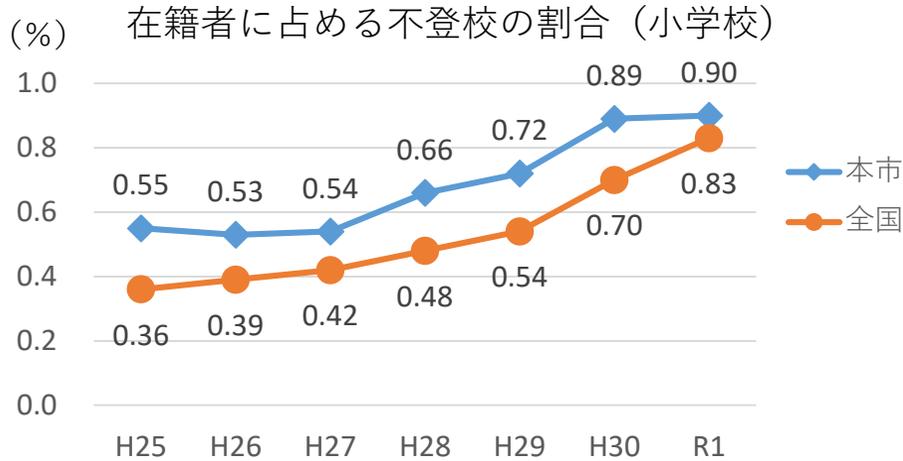
## 「学校安心ルール」指導主事研修

令和3年6月1日オンラインで実施。

講師：西村和雄教育委員会事務局顧問（参加者：69名）

【目的】いじめの未然防止

# 「不登校」に係る取組



**【課題と今後の方向性】** 全国と同様に不登校児童生徒在籍比率が年々増加。**未然防止・早期発見**に向けた取組を進めるとともに、不登校児童生徒に対する、**多様な学習機会の確保など、さらなる一人一人の実態に応じた支援**に取り組むことが必要である。

## 大阪市教育支援センター （適応指導教室）の増設（計3カ所）

**もと弘治小学校** 令和2年6月開設



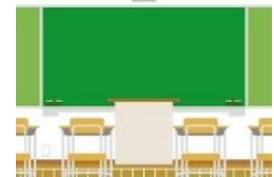
登録者数	計
1年	25
2年	26
3年	11
計	62

（令和2年度末）

**もと鶴橋中学校**

**むくのき学園内**

令和3年4月開設



## ICTの活用

1人1台学習者用端末の活用

- ・授業の配信
- ・双方向通信

（学校と児童生徒とのコミュニケーション）

